

ぶっしょうじ 仏生寺

真岡市南高岡259



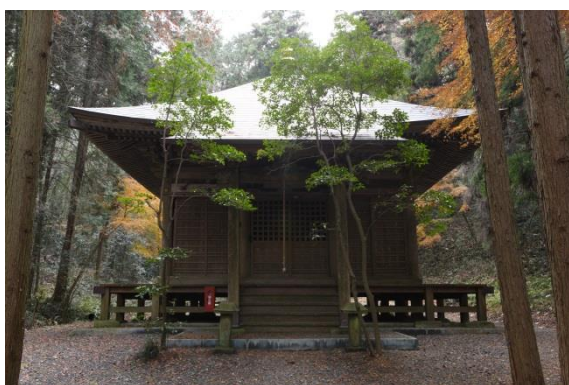
仏生寺は日光をひらいた勝道上人（735～817）の生誕の地と伝えられています。

勝道上人は子どもの頃は藤系丸という名前でした。子どもの頃からとても優秀で、28歳の時に下野薬師寺で試験を受けて正式に

（撮影 上野訓宏）

僧侶となりました。その後、日光の男体山の登頂を目指しながら、日光に四本竜寺を建てました。その寺が日光山で最も古い輪王寺の起こりであるといわれています。782年の春、3度目の挑戦でついに登頂を果たします。勝道上人は、その後も、中禅寺湖のほとりに神宮寺を建てたり、二荒山神社を建てたりしました。

また、仏生寺にはたくさんの仏像も安置してあります。



やくしどう
薬師堂

勝道上人が自ら彫ったといわれている薬師如来が安置されているお堂です。江戸時代（1742年）に再建されました。

（撮影 上野訓宏）

やくしによらいざそう
薬師如来坐像

平安時代後期につくられました。秘仏であり、真岡市内で最も古い仏像です。



（撮影 上野訓宏）



じゅうにしんしょうりつぞう
十二神将立像

(撮影 上野訓宏)

鎌倉時代につくられました。十二神将は、薬師如来の説く經典を信ずるものを守る神様で、薬師如来が人々を救うために出した十二の願いを守る神でもあります。頭の上には十二支の動物をつけ、手には武器を持ち、甲冑をつけた怒り顔です。



(撮影 上野訓宏)

せいしほさつりつぞう
勢至菩薩立像

鎌倉時代につくられたもの。



(撮影 上野訓宏)

にっこうほさつりつぞう げっこうほさつりつぞう
日光菩薩立像・月光菩薩立像

室町時代につくられたもの。